



『イタリアで考えたこと』
(Ⅱ)

三原内科クリニック
喜久村徳清

☆

帰国後、コロッセオ前で購入した「ローマ。昨日と今日」(参考1)を観た。この「…重ねて見る」ガイドブックは現存する遺跡にありし日の建造物を重ねてみせる仕掛けになっている。その残酷さは猛獣、剣闘士の記述を含み、さらにはシーザーの暗殺された墓地の上に記念碑を建て、崇め称えるという、その風習、伝統は(日本には無い思考法で)、イタリア人の訳した邦文が伝える耐え難いほどの生々しさも相まり、苦痛さえ感じながら読み進めた。

そして「…遺跡と化したのは…人間の破壊行為の結果であって…」という文言に接した時、これまで理解し難く、疑問に思っていたこと(参考2)が、突然氷解し、解決したような清々しい強い衝撃を受けた。日本の観光案内ガイドにも「帝国の衰退とともに荒廃し……」等と紹介されているが、この書籍に記述されている「破壊行為」は明らかに誇りをもって書かれたものと判る。そして改めて旅を追想し、現地で購入した航空観光写真(絵葉書)等を見直してみても、コロッセオ、フォロ・ロマーノは徹底的に人工的に破壊された残骸であることが解った(写真1)。

荒野に人類が初めて出現したその日から、弱肉強食、過酷な生存競争があり、定住しかけた1万5千年前からは家族、同族のきずなが強まり、異なる種族は収穫物を収奪される、生存をおびやかされる存在となり、敵対せざるを得ず、ここに民族的、geneticな、本能的(根源的=DNA的)な生きかた、行為があって、彼らにはそのような生き方しか選択の余地はなかったのだと、冷静に客観的に、肯定的に納得するには時間を要した。



写真1. チルコ・マッシモ(16万人収容の戦車競技場跡地)より遠望されるフォロ・ロマーノの遺跡。写真左側は青々とした芝生で埋めつくされた公園になっており、「真実の口」で有名なコスメディン教会がある。

中世の混乱期を経て後に、14世紀からヴァチカンに教皇が常駐するようになる(遷都)と、再びローマが政治、経済の中心となる。16世紀には王政復古、ルネッサンスの影響を受けて大聖堂にミケランジェロやラファエロなど多くの芸術家たちが絵画や彫刻を創作し、宗教改革の試練を経てローマはカトリック文化と芸術の都へと変貌していく。その間、フォロ・ロマーノの破壊と略奪は18世紀まで続いた(参考1)とされる。

☆☆

往きの機内では友人に勧められた映画「鉄の女:サッチャー」と、スピルバーグ監督作品「War horse 戦火の馬」を見て、長旅も苦にならなかった。「サッチャー」は“…ビデオを巻きもどしても人生は変わらない”と言いつつ、夫の死後、何年も経ってから、老いが忍び寄る中での回想録。何かしようとするのが政治家。党首にはなれないと思いつつも立候補して、1979年、英国保守党党首に選ばれる。何をどう考えどう行動するか。「英国は歴史に学ぶ」(参考3)。そしてエピソード風に歴史が描かれ、アカデミー賞受賞作品となる。

テロ。アイルランド紛争。民営化。ソビエトを開放。暴動。デモ。対峙。そして、アルゼンチン南端に位置するフォークランド戦争。軍艦100隻派遣。若者の死を無駄にせず、フォークランドのためにと戦争遂行。戦勝。「英国人であることに誇りを持つ」と演説。1989年、ベルリ

ンの壁崩壊。ヨーロッパ連合、EU 統合が実現するが英国は誇り高く加盟せず、党内議論、サッチャーは党首を去ることを余儀無くされる。

☆☆☆

世界の real なニュース、映像が瞬時に駆け巡る global な時代になっている。イタリア旅行中、滞在したホテルの TV で日本の東日本大震災、TSUNAMI や原子力事故の映像が流れた (TVAsahi 系映像)。オプションツアーで知り合った英国在住 5 年間にもなる日本人商社マンは、「EU から見れば Japan は、次の世界のリーダーとして羨望され、No. 1 の国として期待されている。大震災の映像で、現地の TSUNAMI のほか、東京の大混乱の一夜、略奪のない秩序だった市民の行動に驚嘆し、くり返し何度も放映されて (昨年、震災時)、日本への評価を最高に高めた」。「しかし、福島原子力事故のニュースが流れた瞬間に深い落胆と諦めが変わり、それまで期待していただけ、EU では落胆がひどい大きい」と語っていた。

前号に書いた都市間を移動中の高速バスの中で、ヨーロッパの民族の違いによる国民性の話を面白く聞いていたが、この旅も終わりに近づき、女性ツアーコンダクターは解説した。

『ローマ、イタリアを含むヨーロッパの歴史の中で Noblesse oblige “持てる者は持たざる者へ分け与える風習” があって国家が成り立っている。こういう伝統があるために建築物が何世紀にもわたって改修が可能であった。また、幅広く献金する風習があり、ここでは来世が本当にあると思込んでいる人達にもよく出会う。そういう風に肯定し、解釈しなければこの国は到底理解できない。…』

☆☆☆☆

日本人現地案内人、中年男子のムラカミさんは、ローマを愛し、日本人によく識ってもらおうと、時に質問しながらガイドする。「五月雨



写真 2. バチカン博物館。地図のギャラリー。廊下の両側に中世の地図が展示されている。

を集めて速しテヴェレ川」、「ヴァチカンを最初に訪れた日本人は?」、考えていると、「…それは信長が送った長崎からの 4 人の少年使節団。14、5 歳で異郷で生活。帰国に際して皇妃を感激させた会話のエピソード。日本に帰った後の人生、処刑された者、長命を全うした者、それぞれの人生を物語ってみせる。

バチカン博物館には地図のギャラリーの廊下があった (写真 2)。地球が丸くなかった時代の世界地図。ローマより東方に大陸が続き、その東の端での海上に浮かぶホウライの邦、縄文時代、弥生時代の歴史はあるものの、黄金の建物が建ち、ワビ、サビ、もののふ、ツワモノ、神風の吹く不思議な邦の島、ニッポン。昔人もまた、現在もなお日本に憧れ、好意、親近感を持つ者達がおられ、私も日本が遥かに遠く、頭の中に、儂い夢のように観念にのみある存在、日常些事を忘れさせるノスタルジックな感動多い、忘れ難い旅となった。

(本稿は 2012 年 10 月 1 日に投稿しましたが、長すぎるとの指摘を受け、二分割して再投稿したものです。その間、中東ではイスラエルとパレスチナは互いに相手国に砲弾を撃ち込み死者を出しました。また、EU はノーベル平和賞を受与されましたが、私のイタリア旅行の体験はそのことを深く理解するのに大変役立っています。 2012 年 12 月 10 日記)

参考 1

ローマ 昨日と今日 重ねて見る Giuseppe Gangi

(邦文和訳 抄)

(下線_、カッコ () は筆者が挿入した)

SPQR、ローマ市の紋章。この略号を用いて、二十五世紀も前から、ローマの元老院と市民は、彼等の意志、実行力、そして法規社会の精神のしるしを、彼等の軍隊が到達し得たあらゆる場所に残してきたのである。彼等は いかにも偉大な民主制が、寛大な…、…世界中の人たちに教えたのである。ローマの遺跡 (は) …、…ローマそのものを理解することを意味している。

『…この本には、あまり時間のない観光客の方々に…手っ取り早くしかも正確に理解していただくために作られた…。』

ローマの歴史概略

ローマの…、パラティーノの丘は、定住のための理想的条件が整っていたため、早くから幾つもの家族が住みつき…

伝説によるとローマは前 753 年に初代の王ロモルスによって建国され、…しかしこの王政は七代目に…突然終わりを告げた。

共和制は前 509 年に始まり、…大規模な公共建築物が…

前 378 年には、七つの丘…の城壁が…建設された。その後、激しい戦いに勝利をおさめ、ローマはほぼイタリア半島全土を支配するようになった。…

前 264 年、ローマは、当時の地中海の支配者、強国カルタゴと運命を賭する戦いを開始し、…遂に、滅ぼしたのである。

フォロ・ロマーノ

丘に囲まれたこの谷間は、名高いクロアカ・マッシモ (大下水道) の建設によって干拓されてはじめて政治、宗教、司法及び行政の中心フォーロ (広場) となった。遺跡と化したのは、ローマ帝国崩壊後の人間の破壊行為の結果であって、時間の経過に伴って自然に壊れたものではない。

…そして紀元前からジュリアス・シーザー (前 101 ~ 前 44 年) の輝かしいローマ共和国の時代 (テーベレ川の流れをヴァチカンの丘の方向に変える新都市計画、シーザーの急死によって実現しない) を終え、アウグストス帝 (前 23 ~ 後 14 年) 時代の帝政時代に革新が進められ、シーザーに捧げた神殿を建て、その上新しいフォーロを造り、復讐のマルスの神殿をその中心においた。又自分の霊廟、平和の祭壇を造り、熱中した壮大な建築物で街を展開し、“レンガの町を受け取り、大理石のローマを残す”と遺言した。

後 24 年、ネロ皇帝の治世に、大火が発生した。その後革新的再建都市計画が発布され、再建は次の皇帝一族によって (遂げられた)。

コロッセオ (フラヴィス円形競技場)

ヴェスパシアヌス (69 ~ 79 年) とティトス (79 ~ 81 年) によって造られた。コロッセオでは、いくつものタイプの催しがあった。猛獣狩りは大衆的で、ローマ人のお気に入りでもあった。…ライオン、トラ、豹等出場し、時が過ぎる毎にワニ、カバ、エジプトのサイ等を出場させた。皇帝たちによって (養成所) 飼育係りができ、野獣達は攻撃性を煽る為に、断食、暗闇の中に置かれた。

剣闘士の戦い

見世物は元来エトルリア人からもたらされた。事実、彼らには名家の男達の墓に殺した捕虜等の血をかけて死者の怒り、嫉妬、憤慨の心をなだめる習慣があった。これが娯楽としての剣闘士競技へ発展し、群衆の支持を得るための政争に影響を及ぼす事すらあった。

剣闘士は、犯罪者、死刑囚、奴隷、一攫千金の幻想を抱いた市民、没落貴族の若者等で構成された。決闘は音楽で始まった。人々は大興奮し、一人の剣闘士の死で終わる。もう一つは負傷してエデイトール（主催者）の Missio を得ることもあったが、指導者たちは殺しを扇動し、「命乞いせず笑って死んでいけ」という黄金の規則で剣闘士は教育された。

チルコ マッシモ

かつては主に二頭立てと四頭立て二輪車、四輪車の競技に使われた。前 329 年に創建され、後 549 年に最後の競技が行われた。

帝政末期

ディオクレティアヌス（284～305年）とコンスタンティヌス（306～337年）の二人の歴史的人物としての皇帝の出現を誇る。今日コロッセオの前に見る凱旋門は、“市の守護者”としてのコンスタンティヌスに元老院がその業績をたたえて捧げたもの。

幾世紀に渡るコロッセオの変遷

1349年、2回目の大地震。1451～51年ニコラウス5世の治世下に、内部と南部の外円を崩して新しいサンピエトロ寺院造設。北側の部分は舞台の軸として残した。ローマを完全に変貌させるほどの多くの建物が、フォロ・ロマーノの破壊と資材の略奪により建てられた。

ベネディクトゥス14世（1740年～58）

何世紀にも渡った略奪は18世紀に終止符を打った。

参考2

戦禍が絶えることのない中東情勢。2001.9.11. 事件とその後のビンラディン殺害に至るまでの歴史の事実。死刑制度廃止をEU全加盟国が決めていること。医学部の後輩が民族学研究者となり東欧の現地に赴き研究をした結果、「旧ソ連が崩壊した直後に民族の独立運動が各地におこり、無政府状態の中で仇討ちのような現象が各地で起こったこと」という話を聞いたこと。「日本では、割腹自殺を遂げた三島由紀夫の純国粹主義的思想がある」との研究者の説。洋画のアクションシーンにみる残酷なまでのリアリティさ。…等々が腑に落ちるような形で理解できた。

参考3

国家の軍事力を肯定した論拠は根強く西欧諸国にある。ドイツの名宰相ヴィスマルクは「賢者は歴史に学び、愚者は経験に学ぶ」という名言を残したが、ここでいう歴史とは軍事指揮権を発動して実行することを指すと言われている。軍事力の極限、ナチズムのジェノサイドの反省から政治的対立を国家、民族間で解消する目的でEU圏が合意されたという説は説得力があり、評価されている。